

第3回 意見交換会 要旨

開催日時	10月 23日(火) PM19時00～21時00		
市町村名	穂高町	グループ名	5
メンバー	(:司会、 :記録者)		

1. 前回の意見交換会の確認
 - ・前回の意見交換会要旨について、誤り記載ミス等は「なし」と確認した。
2. 前回の意見交換会を振り返り
 - ・他のグループの様子も知りたい。 ホームページあるいは豊科事務所/役場に行けば閲覧できます (豊科事務所)
 - ・この穂高町の第5グループの総意としては、松本系魚川連絡道路について、概ね「反対」でまとまる方向にある。
 - ・他の地域、白馬、大町といった賛成の強い地域でも、賛成理由について明確になっていない(作ることが目的となっている)。
3. 本日の議論
 - ・国全体で660兆円もの借金がある中、トンネルを8キロも作るとされるこの道路は建築費を1兆円を越すとされ、あまりにも現実的ではない。
 - ・現在ある道路の中で、構造・運用面に悪い部分があり、その改修を御願いたい。生活道路の改修が先決。やれる範囲から直して欲しい。また、右折ラインの設定や、ちょっとした工夫で渋滞などを防げるので、もう少し知恵を使った対応を御願いたい。
 - ・小谷には国道148号しかなく、白馬以南も大町へは1本しかない、緊急時(緊急医療が必要な時など)の対応としてもう1本欲しい。ただし、高規格道路という形式にこだわる必要もないのでは?
 - ・「ゼロからの話し合い」と県は明確にしたものの、堀金～大町は高規格道路の調査区間となったまま。これをきちんとゼロに戻して欲しい。そうしないと、PI手法の一つとしての意見交換会に過ぎなくなってしまう恐れがある。
 - ・もし万が一高規格道路を作るとしても、高瀬川を通るルートで御願いたい。
 - ・昨年知事が変わったことで、県の方針が「住民の話し合いをしながら進めています。」というスタンスに変わった。今までのやり方を考えると、到底県のやり方を信じられるものではない。
 - ・整備区間に格上げされれば、作るしかなくなってしまう。止めるのは今しかなく大変危機感をもって考えている。
 - ・安曇郡の道路、特に南北の道路は4本ないし5本が存在し、数的には十分足りている。是非今ある道路の整備を御願いたい。
 - ・この高規格道路の費用対効果が不明。なぜ必要なのか分からない。長野県と穂高町は、自然の良さを謳いながら、なぜ景観を壊す道路を作るのか理解できない。
 - ・意見交換会はPIをおこなったという体裁を整えているだけ。
 - ・堀金～大町のルートを調査期間に決めた理由を知りたい。

第3回 意見交換会 要旨

開催日時	10月 23日(火) PM19時00～21時00		
市町村名	穂高町	グループ名	5
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

- ・松川では動員をかけて大多数が賛成を決議している。反対者に働きかけた方が良い段階に来ている。
- ・高規格道路ができると通過区間になってしまい、結局は地元の利益にはならず、町が分断された不便さだけが残ってしまう。
- ・物流を全てその道路に頼るべきではない。
- ・道路を考える中で、町のあり方も考えていきたい。
- ・高規格道路は昭和50年頃から出てきた話で、今となっては状況も変化し全くの時代錯誤。バブルの発想は止めて欲しい。
- ・白馬～長野間の高規格道路については、白馬と小谷の人達には、情報がきちんと知らされていない。
- ・高規格道路が作られれば、地下水の汚染は激しくなり、観光のみならず穂高町のライフラインに大きな影響が出る。
- ・高瀬川沿いに通すという案もあるが、他所だから知らないという立場ではいけない。高規格の道路を作れば深刻な事故はおきる可能性は大きい。無料の道路は大型のトラック等がスピードを出して危険。
- ・潜在的な反対意見賛成意見を明確にすることが必要。
- ・もう議論をするのでなく、反対意見を集約する段階にきている。
- ・全体集会で反対の署名を一気に集めるような形にしてはどうか。
- ・穂高町でも高規格道路の問題は周知されていない。
- ・グループ単独でいきなり署名を集める前に準備を十分にしたい。
- ・反対運動の手法としては他のあらゆる反対グループと協調しながら進めていきたい。
- ・署名は逆効果になることもあるので十分な検討が必要。段階を経て一番効果的な方法を考えながら署名運動を進めたい。
- ・高規格道路に反対すると必要な公共事業も来なくなる懸念がある。
- ・穂高町は非常に古い体質。是非近代的にして明るい街作りを御願いたい。
- ・ある人が行った1千人アンケート(観光客へのアンケート)は8割の反対意見が集まりそれは非常に分かりやすい説得力があった。
- ・道路のお陰で農地が売れて嬉しい農家の人々がどれだけいるかは疑問。
- ・昔からの住民の中には、後から穂高町に移り住んだ人たちへ非難も大きい。そうした人たちとうまく進めることも大切。
- ・そもそも高規格道路は、政治家主導で進められたに過ぎず、本当に住民の意見を集めたものではない。まずその出発点がおかしい。

第3回 意見交換会 要旨

開催日時	10月 23日(火) PM19時00～21時00		
市町村名	穂高町	グループ名	5
メンバー	(:司会、 :記録者)		

- ・市民タイムスに意見広告を出して、口座なども開き、意見と募金を集めたい(口座を作って署名とカンパを集め、実績を蓄えたい)。
- ・コストをかけずマスコミをうまく利用することも考えましょう。
- ・高規格道路について、県はゼロからの出発としているので調査区間の指定は撤回すべき。
- ・今までの調査にかかった費用を出して欲しい。
昨年度20百万円本年度6百万円
- ・小さな団体の草の根の動きが大切。其々の動きが有機的になることも大切。
- ・高規格道路ができると、騒音により、今まで静けさに慣れている。住民は眠れなくなるなど、深刻な問題が発生する。
- ・交通量予測については、産業用車両、観光車両の区別など不明確で、説得力にかける。
- ・道路の使用料は無料というが、長野県の借金が1兆6千億に登るなかで、住民に負担がかかるのは納得できない。
- ・調査区間に指定した理由は、交通量が増えている、10キロメートルで妥協なところを選んだとしているが、到底納得できるものではない。

4.まとめ

当5グループでは、結論として下記を方針として決定する。

方針：「松本系魚川連絡道路整備について断固として反対し、道路行政としては既存の生活道路整備をその指針とする」

松本系魚川道路整備に反対の理由：

町が分断される：県道、町道、農道が分断され逆に不便になるから

美観を損なう：穂高町の最大の財産、自然・環境といったかけがえの無い大切なものを失うから

公害の可能性：騒音、交通事故、湧水への害、エンカルの害、大気汚染といった深刻な住環境汚染が想定されるから

借金で公共事業を行う：1兆円近い投資に比べその効果は薄く(費用対効果がない)子孫に負の資産を残すことになるから

観光で人を呼べる時代でもない

道路整備は今ある道路を：コスト負担が少なく効果を出せる様、現実的に、今ある道路の活用を望みたいので。

第3回 意見交換会 要旨

開催日時

10月 23日(火) PM19時00~21時00

市町村名

穂高町

グループ名

5

メンバー

(: 司会、 : 記録者)

5. 県に対してまず要求すること

「松本系魚川連絡道路については白紙に戻して議論を進めている段階なので、調査区間に指定された波田~大町の区間について即座に撤回をすること。」

6. 今後の活動方針

他のグループと協調して煮詰めた形にしたい。

まずは松本系魚川連絡道路(高規格道路)の問題が起きていることを穂高町の人達に周知したい
大町以北で要望している新しい道については、穂高町の住人としてこれに反対するものではない。

7. 次回のミーティングについて:

11/6(火) 7:30PM~9:30PMの予定で開催

『議題』

「松本系魚川連絡道路反対の署名広告内容の検討」

以上